



街並みに  
笑顔広げる  
筑西の火

いきいき茨城ゆめ国体筑西市炬火イベント開催  
マイギリを駆使して火を起こせ！

アルテリオ前広場で、炬火きょかの採火のための火起こしを行いました。炬火はオリシピックの聖火にあたるもので、国体選手を見守るシンボルとなります。

8月3日、強い日差しが照りつけるなか、小学生19人が集まり、古代の道具「マイギリ」を使用し、麻縄あさなわをほぐした繊維に火をつけました。火起こしを見守る家族や友だちから、「がんばれ、がんばれ」と掛け声がかかり、無事に火がつくと会場から歓声が上がりました。火はそれぞれ専用のトーチに着火され、それらを一つに集めて、「筑西市の火」がとりました。

また、下館一高3年の増山侑希ましまゆきさんが考えた筑西市の炬火名が、同日発表されました。



炬火点火式筑西市代表  
くまき ゆうか  
熊木 優香さん  
(竹島小6年)

9月28日(土)に笠松運動公園(ひたちなか市)で開催される国体総合開会式で、県内44市町村の代表者が参加する炬火点火式に本市を代表して出場します。

熊木さんは4月に行われた全国道場少年剣道錬成大会県予選会で優勝。12月には、茨城県代表として全国大会に出場します。



命名者 増山侑希さん  
(下館一高3年)

筑西市炬火名  
街並みに  
笑顔広げる  
筑西の火

いきいき茨城ゆめ国体2019

問 国体推進課 (本庁3階) ☎54-7012

第74回国民体育大会 翔べ 羽ばたけ そして未来へ

とき 9月29日(日)～10月1日(火)

ところ 下館総合体育館

日程 9月29日 8:30～ 開始式  
9:05～ 公開演武「日本剣道形」  
9:30～ 剣道競技開始  
10月1日 13:55～ 男女総合表彰式

おもてなしコーナー

競技期間中は、午前11時から数量限定で筑西市の食材を活用した豚汁や雑炊、特産品の梨の無料配布を行います。

また、近隣の飲食店が提供する料理や剣道用品、国体記念グッズを販売します。



# 応援してくれる人たちのために 結果で恩返しをしたい

「ゴールした時の達成感がすごく気持ちいい。やったことがない人から見ると何が楽しいのかと思うのですが、実際にやってみると楽しい競技です」と話すのは、トライアスロン競技で、いきいき茨城ゆめ国体の茨城県代表に選ばれた中山知洋さん。

トライアスロンは、スイム、バイク、ランの3種目を連続で行う耐久競技。茨城国

## 長距離走から トライアスロンへ

幼いころから走ることが得意だったという中山さん。下館南中学時代には全国中学校駅伝にも出場しました。その関係で、高校では陸上部に所属。長距離選手として部活動

に励みましたが、目立った活躍はできなかったそうです。

トライアスロンに出会ったのは、陸上を続けるかどうか迷っていた大学入学時。「友達に誘われて、楽しく運動できればいいという軽い気持ちで始めました」。これまで打ち込んできた長距離走の経験も活かせると感じたそうです。

## 苦手種目を克服

トライアスロンを始めた当初は、ほとんど泳げなかったといいます。初めて出場したレースでは、濁った水で前が

見え、足もつかない状況になりパニックに。

転機が訪れたのは大学2年生のときでした。縁があつてプロのコーチから指導を受けられるようになり、苦手だった水泳の記録がみるみると伸びていきました。「今でも3種目の中では、水泳が一番の弱みです。でも、今では、走ることよりも泳ぐことの方が好きかも」と笑顔で語る中山さん。

## 国体出場に向けて

「代表に選ばれた時はすごく

うれしかった。茨城県の代表として責任を感じています」。オリンピックレベルの選手が出場するなかで、中山さんは上位入賞をねらいます。「多くの人に応援してもらったからこそ今まで来られなかった。そんなみなさんに頑張っている姿を見せたい。残された期間は少ないけど、本番に向けてしっかりと準備して、悔いのないレースにしたいです」。

本番は、総合開会式の翌日の9月29日(日)、潮来市の特設会場で開催されます。



茨城国体トライアスロン  
中山知洋さん



競技に出場

(下館南中卒)

